

湧雲

発行：福島県立南会津高等学校 湧雲発行委員会

〒967-0631 福島県南会津郡

南会津町界字向川原 2000 番地

TEL：0241-73-2221 FAX：0241-71-5006

H P：https://minamiaizu-h.fcs.ed.jp/



湧雲の題字は、元湧雲会会長 故渡部次郎氏



本校は、昭和23年7月31日に、南会西部高等学校として開校しました。当時は、定時制の課程で農業科、畜産科、家庭科で生徒募集を行い、年度途中にも関わらず、本校、伊南、館岩、朝日、伊北の各分校合わせて405名が入学しました。途中館岩分校の廃止などもあり、最終的に1期生の卒業生は54名でした。

昭和26年度に全日制の課程普通科の設置、昭和35年度に南会津高等学校と改称、昭和39年度に只見校舎が只見高等学校として独立しました。

国公立大学進学を始め進路希望の実現、スキー部、剣道部、男子ハンドボール部、女子バレーボール部、放送委員会等での県優勝そして全国大会出場、郷土芸能委員会「早乙女踊り」やボランティア活動、南高祭と南郷豊年まつりの共同開催など、魅力ある学校づくりに努めてまいりました。かつては在籍生徒の大部分が南郷中、伊南中、館岩中、明和中出身でしたが、10年ほど前から田島中からの入学生も増えてきました。本校の教育活動の充実のため、南郷村、伊南村、館岩村、そして南会津町並びに地域の方々にご支援ご協力を頂いたことに感謝申し上げます。

令和5年4月に田島高等学校と統合し、本校74年8か月の歴史に幕を下ろすことになりました。卒業生は6,590名となり、県内外で活躍しております。統合校は、南会津高等学校(総合学科)として開校いたします。なお、本校の在校生は、南郷校舎の生徒として、現在の校舎で継続して学んでいきます。

福島県立南会津高等学校長 中村康伸

学校名について



昭和27年度学校要覧には、「吾が校はこの伊南川の沿岸に点在する南會西部9ヶ村のほぼ中央に位置し」と記載があり、「南會西部」地区が校名「南会西部高等学校」の由来となったのではないかと推測される。なお、本校の住所にある「界（さかい）」は伊南と伊北の境界を意味する地名である。

近藤金弥第4代校長が、着任前から「南会津高等学校」への校名変更を考えており、昭和33年のPTA総会で校長が校名変更を提案し承認された。なお、実際に変更となったのは昭和35年度からである。当時の生徒会誌「飛雲」に、卒業生から「田島でさえも南会西部高校は知らず、がっかりした事もある。南会津高校と言えば南会津郡にあるとすぐわかり、改名は学校のために非常に良いことだ。」といった内容の文が寄せられている。

校章について



創立50周年記念誌には、伊南分校の1期生が「学生服のボタンをつくろうということになり、伊南分校の生徒たちで図案を考えた。山を中心に伊南川に踊る若鮎を想起し伊南川をあしらい、高原の白樺の葉を組み、中央に「高」をあしらった。本校に図案を持参したところ玉川春雄校長が校章案として採用し、専門家に見ていただいて出来上がった。」といった内容が記載されている。

学校要覧には、「デザイン：飛田昭喬（福島師範卒、田村高校長、郡山女子大教授を歴任）」と記載してある。



初期校章デザイン



後期校章デザイン

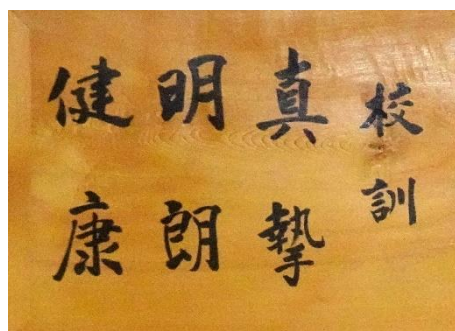


校長室にある校章刺繍



体育館ステージ上の校章デザイン

校訓（修学の指針）について



本校の校訓「真摯 明朗 健康」は昭和30年度の学校要覧に「修学の指針」として初めて記載されている。当時は、伊南、明和、朝日、只見に分校があり、只見高校として独立した際にも校訓は引き継がれている。つまり只見高等学校の校訓は本校と同じ「真摯 明朗 健康」である。

校歌について



作詞 梁取三義 作曲 古関裕而

- 一 山脈の肌清く 晴れゆく朝
伊南のせせらぎ 水澄むところ
展けゆく郷 新たな文化
南 南 南会津高等学校
- 二 幸多き大自然 尾瀬の高原
燧燧に湧き出ずる雲
かかげる理想 花咲く文化
南 南 南会津高等学校
- 三 春の花若き歌 希望あふれて
錦繡の秋 しろがねの冬
正しき法を貫く文化
南 南 南会津高等学校



玉川春雄校長とPTA会長が、校歌を作る予算がないと嘆いていたことから、玉川校長の知人で南郷村農協に勤務されていた方が私用で東京に出かけた際に、梁取三義氏（只見町布沢出身）に校歌の作詞を依頼したところ快諾された。作曲は梁取氏の友人の古関裕而氏（福島市出身）に依頼すると約束してくれた。作詞料・作曲料は極安の謝礼程度であったとのことである。

南会西部高等学校から南会津高等学校に改称した際、「南会 南会 南会西部高等学校」を「南 南 南会津高等学校」と変更した。

寄宿舎（寮）について



寮 一期

寮 二期

寮 三期

昭和26年12月 製材工場の廃屋を利用した寮が完成

昭和31年11月 寮新築

このころ、寮の名称を「白樺寮」から「時習寮」に改名。

時習寮の由来 論語学而篇 「子曰 学而時習之 不亦説乎」。

昭和33年9月 台風21号で寮流出

昭和35年8月 寮新築

昭和44年8月 集中豪雨により寮床上浸水

昭和58年11月 新寮完成

入寮金2,000円、寮費23,000円+米10kg（1か月）。

これまで冬期間のみ寮運営を行っていたが、このときから通年で行うようになった。



南会津高校 74年の歴史



- 1948 福島県立南会津高等学校開設(定時制)
- 1949
- 1950 本校校舎落成し現在の位置に移転
- 1951 本校に全日制課程(普通科)設置 定員150名
- サンフランシスコ講和条約
- 1952 本校普通科(4室)増築
- 1953
- 1954
- 1955
- 1956 寄宿舎完成
- 1957 本校全日制普通科募集定員80名
- 台風21、22号
- 1958 台風21,22号で校舎等流出 創立10周年記念式典挙行
- 台風7号
- 1959 台風7号で校舎床上浸水
- 1960 南会津高等学校と改称 寄宿舎新築落成
- 1961
- 1962
- 1963 募集定員120名
- 1964 体育館復興落成
- 東海道新幹線開業 東京オリンピック
- ベトナム戦争勃発
- 1965
- 台風26号
- 1966 台風26号による豪雨のため校舎床上浸水校庭流出 校庭復旧
- 1967 創立20周年記念祝典挙行
- 1968 集中豪雨により校舎等床上浸水 柔剣道場新築工事完成
- 1969
- 日本万博
- 1970
- 1971
- 富田小学校、和泉田小学校統合
- オイルショック 国道252号線開通
- 1972
- 1973
- 1974
- 1975
- 1976
- 1977
- 富田中学校、大宮中学校統合
- 1978 湧雲会発足
- 1979 募集定員135名 校歌碑建立
- 1980 校舎改築落成等記念式典
- 1981 新体育館落成
- 駒止トンネル開通
- 1982 運動場整備完了
- 1983 寄宿舎改築落成記念式典挙行
- 1984
- 1985
- 1986
- 1987
- 1988
- 平成に改元
- 1989 募集定員90名
- 湾岸戦争
- 1990
- ソビエト連邦崩壊 バブル崩壊
- 1991
- 1992
- 会津大学開学、福島空港開港
- 1993 募集定員80名
- 1994
- ふくしま国体
- 1995
- 1996
- 1997
- 1998 創立50周年記念祝典挙行
- 1999
- 2000
- アメリカ同時多発テロ うつくしま未来博
- 2001
- 2002 募集定員70名
- 2003
- 2004
- 田島町・南郷村・伊南村・錦岩村が合併、南会津町となる
- 2005
- 2006
- 2007 新制服を導入
- 2008 創立60周年記念講演挙行
- 2009
- 2010
- 東日本大震災 福島第1原子力発電所事故
- 南郷第一小学校、南郷第二小学校統合
- 伊南中学校、南郷中学校統合
- 2011 南会津町スクールバス運行開始
- 2012
- 2013
- 2014
- 2015
- 2016
- 2017 旧体育館解体・渡り通路新築工事完了
- 2018 創立70周年記念式典挙行
- 令和に改元
- 2019 普通教室エアコン設置工事完了
- 新型コロナウイルスによるパンデミック
- 2020
- 2021
- 2022
- 2023 第72回卒業証書授与式(卒業者数41名)閉校式挙行

